

令和元年（2019年）第25週 2019年6月17日（月）～2019年6月23日（日）



熊本市 感染症発生動向調査 速報



★手足口病が5週連続警報レベルを超えています!!★

乳幼児では原因ウイルスに感染経験のない者の割合が高いため、感染した子どもの多くが発病します。予防法としては手洗いが基本です。症状が消失した後も2～4週間にわたり便中へウイルスの排泄があるため、感染者は排便後の手洗いが重要です。



QRコード厚生労働省手足口病Q&A

夏に流行する感染症には、現在流行中の手足口病や、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱（プール熱）、流行性角結膜炎（はやり目）などがあります。これらは、特に5歳までの子どもがかかることの多い、感染力の強い感染症です。

夏に流行する感染症の感染経路は

患者の咳やくしゃみなどのしぶき（飛沫）を吸い込むことによる飛沫感染、鼻水、水疱、便、目やにや涙の中に含まれるウイルスが、直接または、ドアノブや手すり、ティッシュペーパー、タオル、洗面器などを介して口や鼻の中に運ばれることによる接触感染、糞口感染などがあります。

症状がなくなったあとも約2～4週間以上にわたってウイルスが排出されるといわれています。咽頭結膜熱（プール熱）・流行性角結膜炎（はやり目）は、プールでも感染しますが、近年は塩素濃度の徹底管理等によりプールでの感染は稀と考えられています。

予防するには

流水と石鹸によるこまめな手洗いを習慣づけましょう。手洗いは多くの感染症に共通する重要な予防方法です。

普段からトイレの後、おむつ交換の後、鼻をとった後に手を洗いましょう。また、鼻をとったティッシュペーパーは使い回さずその都度捨てましょう。

子どもが理解できる範囲で咳エチケット※を心掛けましょう。
※咳が出るときはマスクをつける、人に向けて咳やくしゃみをしない、咳やくしゃみの時はティッシュなどで口や鼻をおさえるなど。

タオルの共用を避けましょう。プール前後はシャワーを浴び、目をしっかり洗い、うがいをしましょう。

★5歳以上のお子さんや
大人の人も注意してね
★別紙の表もみてね



期 間		2019年 24週		2019年 25週	
		6/10～6/16		6/17～6/23（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	→	1	0.04	0	0.00
RSウイルス感染症	→	0	0.00	1	0.06
咽頭結膜熱（プール熱）	→ これから注意	6	0.38	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	26	1.63	35	2.19
感染性胃腸炎	→	71	4.44	73	4.56
水痘（みずぼうそう）	→	12	0.75	4	0.25
手足口病	→ 警報レベル!!	117	7.31	132	8.25
伝染性紅斑（りんご病）	→	10	0.63	6	0.38
突発性発しん	→	17	1.06	13	0.81
ヘルパンギーナ	→ これから注意	24	1.50	20	1.25
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	3	0.19	1	0.06
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）	→ これから注意	15	3.00	7	1.40
細菌性髄膜炎	→	1	0.20	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	→	0	0.00	5	1.00